

10年・20年先を見据えた支援で 「未来を選ぶ力」、「考える力」を育む

明治大学
Meiji University

「あらゆる「個」に寄り添い、就職を実現させる支援」

創立以来、明治大学を巣立った多くの卒業生は、「個」を武器にさまざまな分野で活躍している。就職支援の取り組みが高く評価され、「就職の明治」として広く知られている。「個」を強くするその取り組みには、どのような特徴があるのだろうか。

明治大学では法学部から数理学と情報技術の最先端を学ぶ総合数理学部まで、文系・理系あわせて10学部28学科の学生約30000名が、4つのキャンパスで学んでいる。学部卒業後は大学院へ進学する学生も多く、学部生、院生自身の専門性を生かした活躍の場はあらゆる業界・業種、国・地域へと広がりを見せている。

これらの多種多様な「個」に寄り添い、学生との対話を通して志望を引き出し、サポートしていく明治大学の姿勢やキャリア支援が、「就職の明治」と言われる所以である。

10年・20年後を見据えた成長を支援するプログラム

明治大学のキャリア支援の大きな特徴は、3・4年次の就職活動のただけではないということだ。

低学年向けのキャリア支援にも力を入れており、将来のキャリアアップにも密接にかかわる大学時代の様々な経験を後押しするプログラムを、初年次から数多く提供している。「社会人との接点を増やし、将来の選択肢を広げる」、「学生生活を充実させるきっかけの提供」の2つを主

な目的としており、ただ単に就職活動の支援をするのではなく、「学生自身の成長」の部分までもを担っている。

「相談」「支援行事」「情報提供」の3つの観点から学生をサポートする就職キャリア支援センターは、4キャンパスすべてに設置されており、約25名の専任職員が社会の変化に対応してスピード感を意識して、常に新たな支援を模索している。それぞれの「個」にマッチさせたサポートではあるが、あくまでも判断し、行動する主体は学生。その学生の取り組みをサポートしている。

1・2年生のうちから就職キャリア支援センターの行事に積極的に参加する学生も多く、一度利用するとリピーターになる学生が多いというのがその信頼の証ともいえるよう。



あさりちゃんの強み

- ③コンテンツ力の高さ
 - ・34年間連載していた**大人気作品**
 - ・「二人組による1コミックシリーズ編多発行巻数（女性作家）」**ギネス記録認定**
 - ・「あさりちゃん×KIRIMIちゃん」**コラボ漫画**→作品としてあらゆるテーマに対応できる
 - ・近年の若者の**漫画ブーム**→YouTubeの漫画広告・SNSの漫画投稿が急増
 - ・**漫画は魅力を上手く伝える広告に適している**

登場人物の感情を認知・理解することができ広告に対する評価が高くなると、広告で訴求されている商品、サービスが「消費者の認知・理解」が深まる。



(上)オンラインによる課題解決型(PBL)プログラム：総合出版社の現役編集者に、既存キャラクターの認知向上案を提案するプロジェクト。編集者からのフィードバックを糧に、企画の難しさややりがいを実体験として学ぶ。
(左)オンライングループ相談会：オンラインによる「就活なんでも相談会」を実施。学生にとってコロナ禍にあって、安心材料となる情報を得ることができる貴重な機会となった。

学生の成長と主体的な就職活動を促し、サポートする明治大学は「就職の明治」として広く知られている。目の前にある就職のためだけではない、学生個々の未来を見据えた、明治大学ならではの支援を紹介しよう。

取材・文／野影文香

明治大学での学びや経験が現在の仕事に活かしている



政治経済学部 地域行政学科卒業
会計検査院勤務
佐野 葵さん

就職支援が手厚いことや、課外活動が盛んであることが決め手で明治大学に進学しました。元々、人々の暮らしを支えたいと思い公務員を志望していましたが、学友と将来の話をするにつれて他業種にも興味が湧いてきました。そこで、学内で公務員試験対策を行う行政研究所で学びながら、就職支援行事に参加したり、OBOGの方のお話を伺ったりして将来を模索していました。

中でも、学部の講義で地方自治体の首長らのお話を聴けたことや、インターンシップに参加して行政の課題について考えたことは、進路選択に役立っただけでなく仕事を行う上でも貴重な財産となっています。

私は大学時代体育会に所属し、選手として練習に励むのと同時に部の運営も行いました。体育会と学業の両立は難しかったですが、果敢に挑戦し、達成できたことは大きな自信になっています。ゆくゆくはマネジメント業務に携わることから、体育会活動で培った、「自ら考え、人々を率いていく力」や、「多様な価値観に触れ、ものの見方が豊かになったこと」がとても活きて考えています。

明治大学で様々なことに全力で取り組み、楽しく充実した大学生活のなかから得た経験は、素敵な将来につながっていくと思います。



(左上・右上)インドネシア大学の構内や現地のショッピングモールでアンケート調査を実施。各チームともに平均500名にアンケートを行い、提案の方向性や調査内容を調整した。

(左)現地で働いているビジネスパーソンとのディスカッション、現地の明治大学OB会を通してインドネシア人の考え方や文化、海外で働くことのやりがいを学ぶ。

※画像はいずれも「海外インターンシップ」



インターンシップで視野を広げ、将来を見極める

インターンシップを重要なキャリア教育の一環として位置づけており、一般的に3年次以上が参加することの多いインターンシップに1年次から参加できる。早期から社会を知ることとで自らの適性や能力を見つけ、大学での学習意欲を高めながら職業意識を身につけられる。

「ALL MEIJIインターンシップ」は約320社の企業・団体と明治大学が提携して行われるプログラムで、全学部の学生の参加が可能だ。事前学習として自己分析や企業研究を行った後、5日以上かつ35時間

以上実施し、プログラム終了後は事後面談や成果報告会が用意されている。

さらに2023年には留学経験者を年間4000名とするヴィジョンを掲げている明治大学では、インターンシップにおける海外での経験もキャリア形成に重要と考えている。「海外インターンシップ」という海外での課題解決プログラムでは、3カ月にもわたる事前学習を経て、課題に対する仮説設定を行い、様々な基礎知識を身につけてジャカルタへ渡航。仮説を検証するために現地でのリサーチを行うなど、単なる提案にとどまらない「就職の明治」ならではの取り組みが行われている。

Information

明治大学



文理10学部28学科を擁する明治大学。「分野の垣根を越えて幅広く物事をとらえる視点」を養うプログラムが整う。学生が授業の主体となるアクティブラーニングも多数導入。その中でも多くの学部で実施されるゼミナール形式の授業では、10~20名程度の少人数でディスカッションやプレゼンテーションの能力を高めている。有力企業と連携した問題解決学習やインターンシップなど、実践的な授業も豊富。

●DATA

駿河台キャンパス：東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL 03-3296-4545 (代)
URL <https://www.meiji.ac.jp/>

いち早く就職支援をオンラインで開催

新型コロナウイルスの影響を受けた就職活動ではあったが、明治大学ではグループ相談会をオンラインで迅速に対応。オンライン面接のポイント解説や質疑応答が行われた。情報の少ない中で他の学生の状況が分かり、安心感につながったという。

2020年3月卒業生の主な就職先

・東京特別区	60名
・国家公務員 一般職	56名
・三井住友海上火災保険(株)	25名
・(株)三井住友銀行	23名
・東日本旅客鉄道(株)	20名
・日本アイ・ビー・エム(株)	18名
・パナソニック(株)	17名
・(株)NTTドコモ	14名